

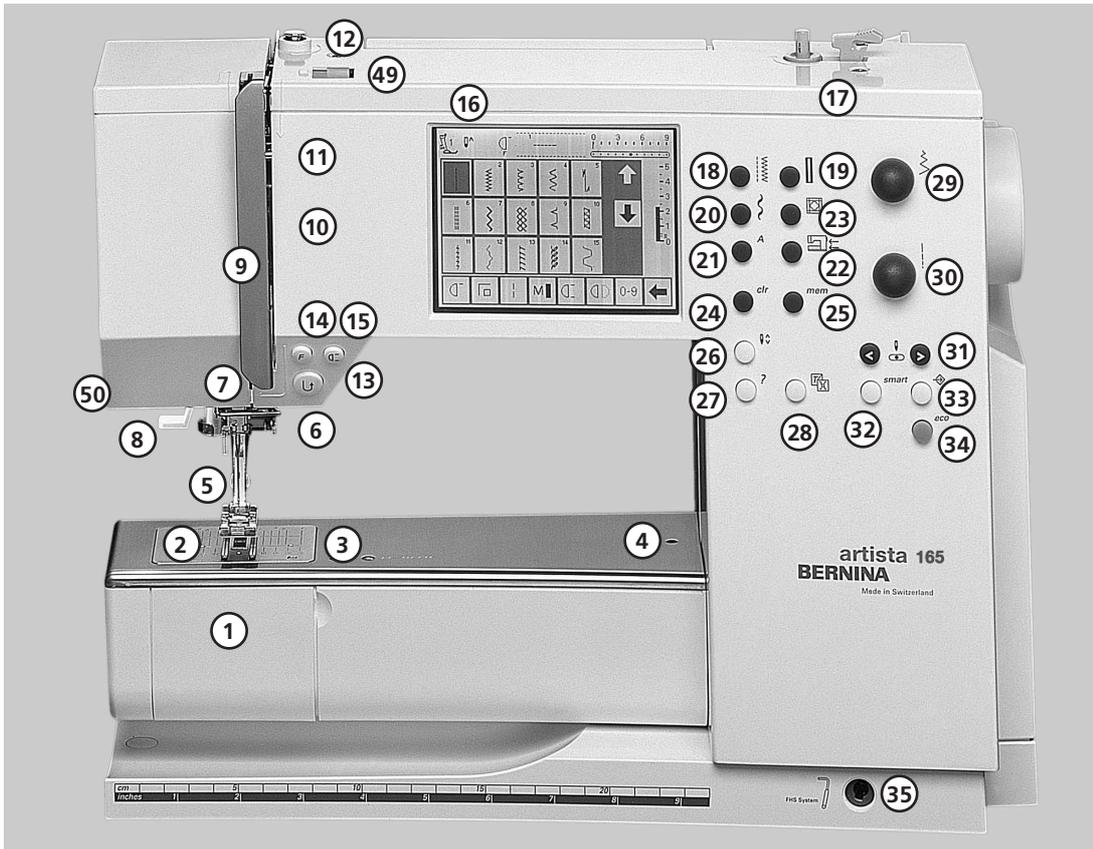
第一章 使用説明書

ベルニナ・アーティスト165

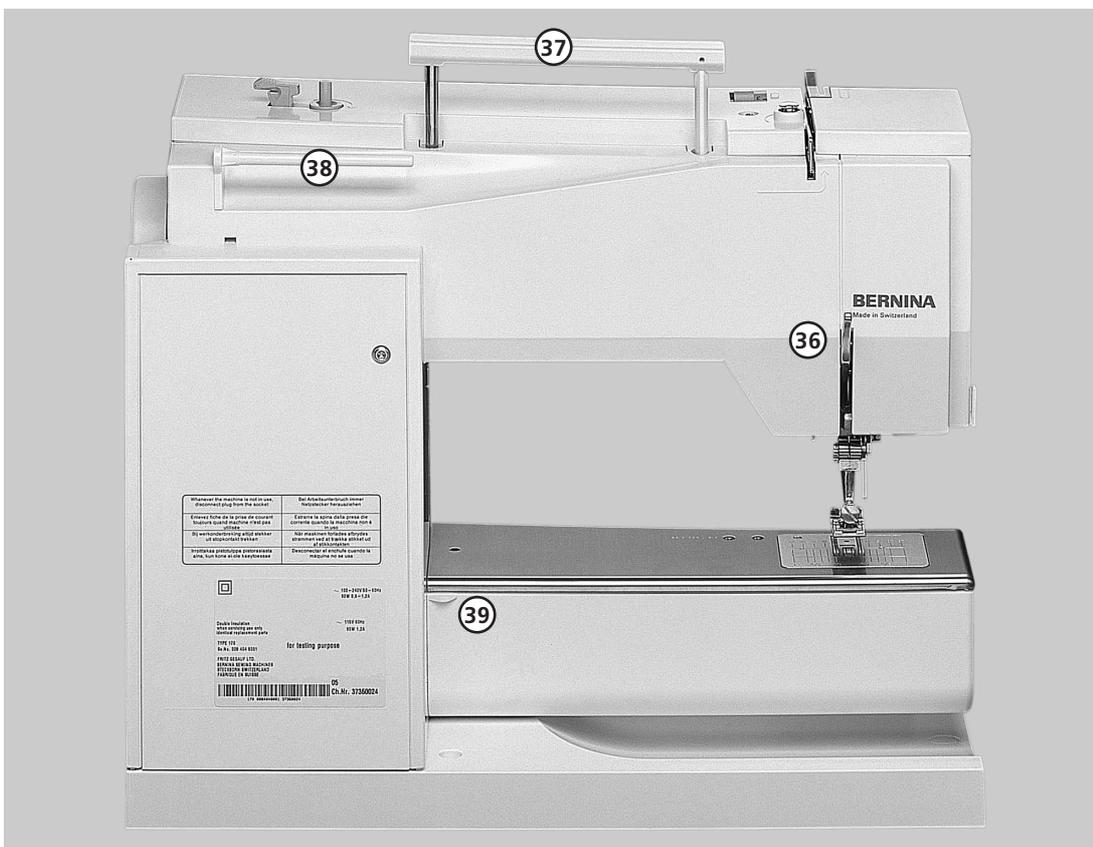
1	安全にご使用いただくために
2	ご挨拶
3	目次
4-5	各部名称
6-12	ミシンの準備
13-14	縫い目模様一覧
15	押え金
16-17	実用縫い／ボタンホール
18-21	ミシンの概略説明
22-28	機能説明
29	ガイド・メッセージ
29-37	ボタンホール縫い
37-38	文字、数字
38-43	メモリー
44	キルトステッチ
45	送りバランス
46	ヘルプ機能
47-48	使用説明書／ソーイングガイド
49	スマート機能
50-61	セットアップ機能
62	エコロジー（省エネ）機能
62-65	特殊アクセサリ
65-67	針、糸、布送り機構
68	保守、お手入れの方法
69	困った時には
70	用語解説
71	索引

4 各部の名称

各部の名称



前面



背面

6 ミシンの準備

キャリングケース



キャリングケース

ほこりや汚れから守ります。
また、付属品のケースとしても利用できます。

付属品

- ・フットコントローラー
- ・使用説明書
- ・電源コード
- ・保証書
- ・膝押え上げレバー
- ・ソーイングテーブル用布ガイド
- ・補助テーブル
(補助テーブルを取り外す時は、上に持ち上げてから取り外してください。)

取り外し方

キャリングケースを取り外すには、両手で両側を持ってから、真上に持ち上げるようにします。



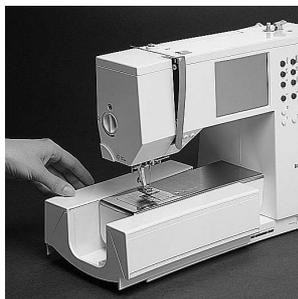
予備の糸立て棒は、キャリングケースをかぶせる際、必ず取り外しておいて下さい。

付属品ボックス



標準付属品の収納

- ・ボックスを使うと、作業スペースが広がります。開くには、カバーを前又は後ろ側におろします。



取り外し方：

- ・左側に引き出すと、付属箱が外れ、フリーアームになります。

ご注意

付属品ボックスを取り外す時は、蓋開閉カバーが閉じているのを確認して下さい。

取り付け方：

- ・ボックスを右方向に止まるまで押し込みます。



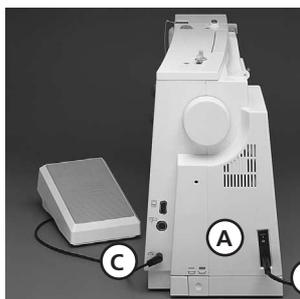
標準付属品*

- ・ボビン4個
- ・針(H)1セット
- ・シームリッパー
- ・ドライバー 小
- ・ブラシ
- ・布ガイド
- ・高さ調節板
- ・垂直型糸立て棒
- ・糸こまカバー3種類
- ・#1 スーパー模様押え
- ・#2 オーバーロック押え
- ・#3 ボタンホール押え

- ・#3 A布ガイド付自動ボタンホール押え
- ・#4 ファスナー用押え
- ・#5 まつり縫い押え
- ・#6 刺しゅう押え
- ・#8 シーンズ押え

国によりアクセサリーの仕様が異なります。

電源コード



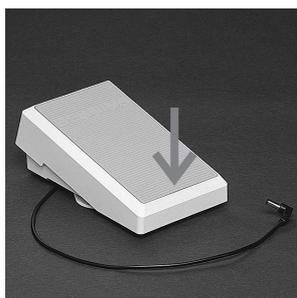
電源コード

- キャリングケースの中に収納されています。
- ・プラグAをミシンに接続します。
 - ・プラグBを電源コンセントに差し込みます。

フットコントローラー用コード

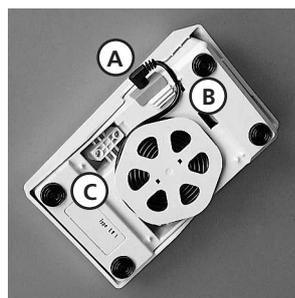
- ・プラグCをミシンに接続します。

フットコントローラー



ソーイングスピード

- ・ペダルの踏み加減でスピードを調整します。
- ・ペダルのかかと部分（矢印）を踏んで針の上げ下げが出来ます。



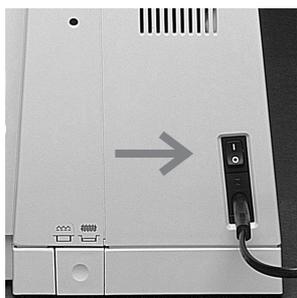
コードの収納方法

- ・裏側に巻き取ります
- ・プラグは、Aの差込穴に差し込みます。

コードの長さの調整方法

- ・コードを必要な長さだけ出して、B又はCのコードホルダーに止めておきます。

電源スイッチ



電源スイッチ

- 電源スイッチは、ミシンの右側下（矢印）にあります。
- ・1：スイッチはオン
 - ・0：スイッチはオフ

照明ランプは、セットアッププログラムで《点灯する》、又は《点灯しない》を選択します。《点灯する》を選んだ時は、電源スイッチに連動します。

「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

補助テーブル



広い補助テーブル

- ・作業スペースを広げます。

取り付け方

- ・針と押え金を上げます。
- ・フリーアーム部に差込み、強く止まるまで押し込みます。

取り外し方

- ・左方向に引いて、取り外します。

布ガイド

- ・テーブルの手前下の溝に沿って、右方向からスライドさせながら差し込みます。
- ・テーブル上で安定した布ガイドが可能になります。

定規

- ・補助テーブルの定規の《0》は、針基線の中央を基準としています。

膝押え上げレバー（フリーハンドシステム）



押え金の上下

- ・レバーで押え金の上げ下げが出来ます。
- ・膝で右に押します。
- ・押え金が上がると同時に送り歯が下がります。
- ・縫い出すと、送り歯は自動的に上がります。

取り付け方

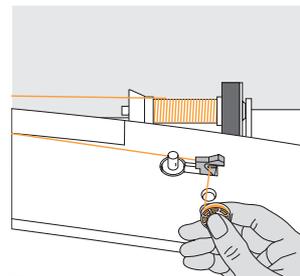
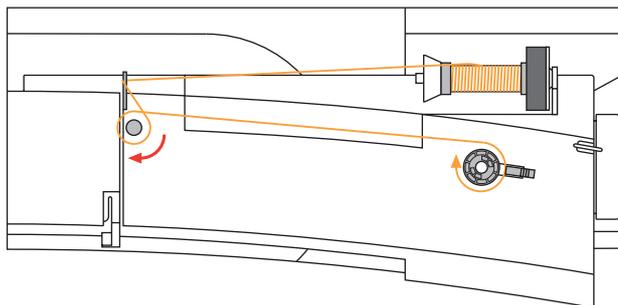
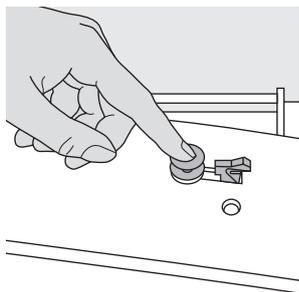
- ・膝押え上げレバーは、キャリングケースの中に収納されています。レバーの差し込み口は、ミシンの土台の前方右下にあります。
- ・ミシンを正面にして、レバーが膝の右側に来るように座ります。

メモ：

レバーの角度は、調整可能でず。最寄りのお買い上げ店にご相談下さい。

8 ミシンの準備

下糸の巻き方



下糸を巻く

- ・電源スイッチをオンに。
- ・空のボビンを糸巻き軸に差し込みます。

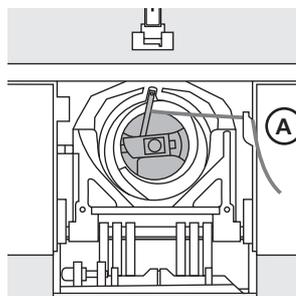
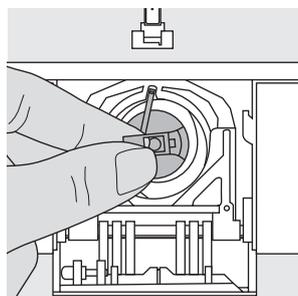
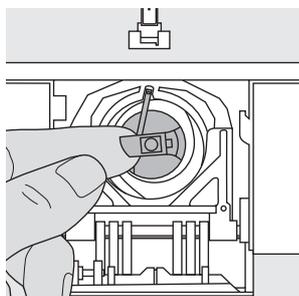
糸の通し方

- ・糸を図中の矢印に従い時計回りに一巻きし、空のボビンに数回巻きつけます。
- ・空のボビンに糸を数回巻きつけ、糸巻き用の糸切りで余分な糸をカットします。
- ・ボビン押えをボビン側に倒します。
- ・フットコントローラーを踏み込みます。
- ・ボビンが一杯になれば、モーターは自動的に止まります。
- ・ボビンを外します。

糸切り

- ・糸切りで糸を切りま

ボビンケース



取り出し方

- ・針を上へ上げ、
- ・電源をオフ《○》、
- ・付属品ボックスの手前を開けて、釜開閉カバーを開け、
- ・ボビンケースの爪の部分をつまんで、取り出します

装着方法

- ・爪の部分をつまみ、
- ・ボビンケースのつのを上にして、
- ・釜に装着します。
- ・開閉カバーを閉め、
- ・付属品ボックスのふたも閉めます。

下糸カッター

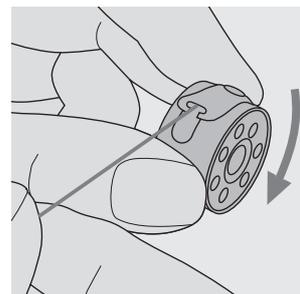
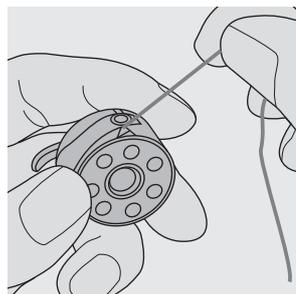
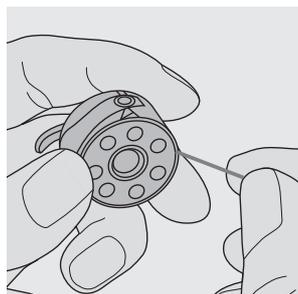
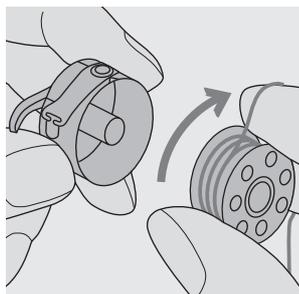
- ・ボビンケースを差し込み、
- ・Aのカッターで余分の糸を切ります。

「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

メモ：

通常は、下糸を持ち上げる必要なく、最適な下糸の長さで縫い始められます。

ボビンの入れ方



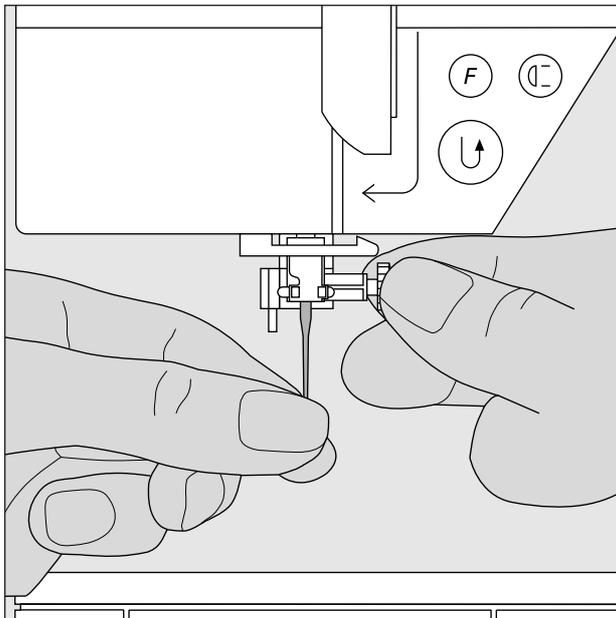
- ・糸の巻き方向が時計回りになるように、注意してボビンを入れます。

- ・糸を時計と反対方向に引きながら切り溝の中に入れて、

- ・バネの下を通して糸がバネの端のT字型溝を通して、だ円形の窓から出るまで引っ張ります。

- ・糸の端を引っ張ると、ボビンが図のように時計回りに回ることを確かめて下さい。

針の交換



針のとり外し方

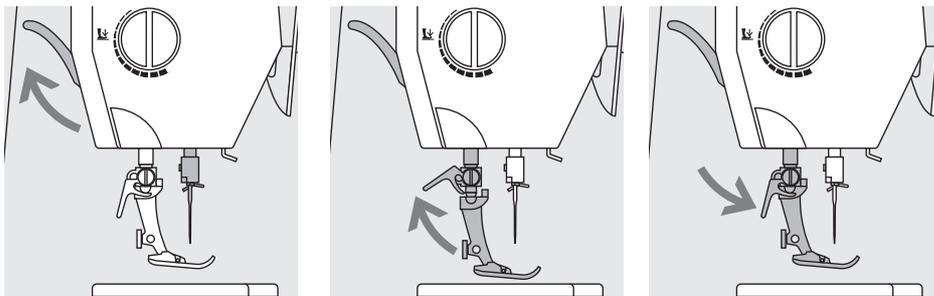
- ・針を上げ、
- ・電源をオフにしてから、
- ・押えを外します。
- ・指先でネジを緩め、
- ・針を下に引いて、外します。

針の取り付け方

- ・針の平らな側が後ろになるように持ち、
- ・そのまま、一杯まで差し込んでから、
- ・ネジをしめます。

「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

押えの交換



押え金の交換方法

- ・針と押え金を上げ、
- ・電源をオフ「O」にします。

押え金止めレバーを上げる

- ・押え金止めレバーを持ち上げ、
- ・押え金を取り外します。

押え金の取り付け方

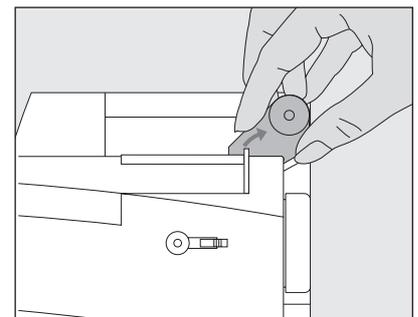
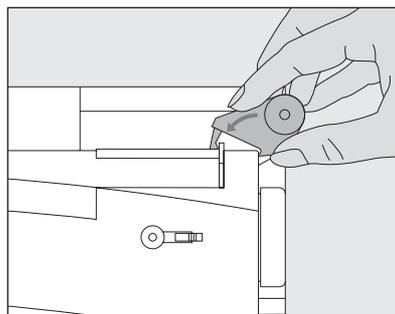
- ・押え金を上に一杯まで差し込み、
- ・押え金止めレバーを下げます。

「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

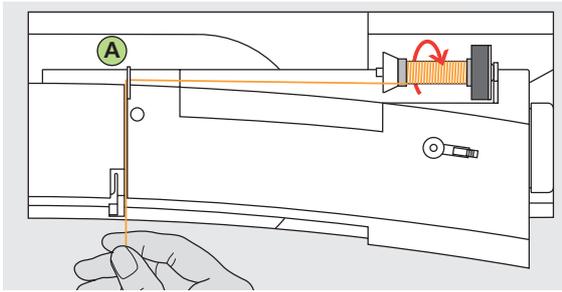
補助糸立て棒（垂直式）

垂直式糸立て棒

- ・垂直式の補助糸立て棒は標準アクセサリに含まれています。
- ・取り付け方は、図のように、右側から回転させるようにして取り付けます。
- ・取り外し方は、逆の方向に回すようにして外します。
- ・2本針など、2本以上の糸を使う時に使用します。
- ・メタリック糸などは垂直糸立て棒を使うと糸のほつれや燃りが戻るので防ぎます。

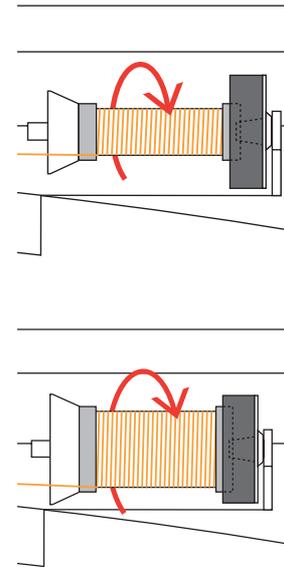
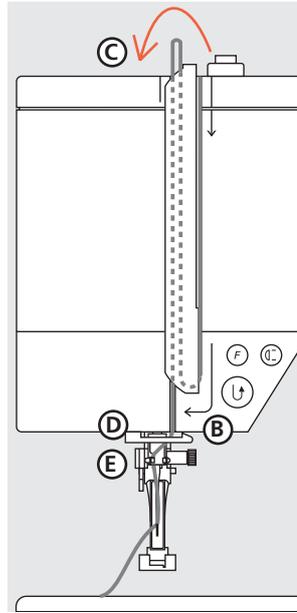


上糸のかけ方



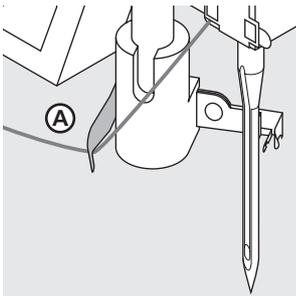
糸こまのセット方法

- ・ 針を上上げて、押えも上げます。
- ・ 電源をオフ<<0>>にします。
- ・ パッド付糸こま土台を図のように取付けます。
- ・ 糸こまが手前にまわるようにセットします。
- ・ 糸こまの直径に合った糸こま押えで平らな面を糸こま側にして隙間のないように糸こまを固定します。
- ・ 図中Aの糸案内に糸を通します。
- ・ 次に、上糸テンションの糸道に通します。



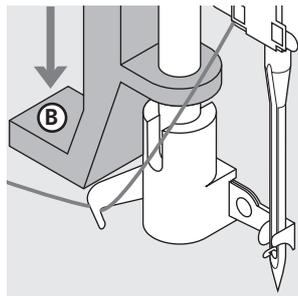
**「安全にご使用頂くために」
のページをご参照下さい。**

上糸糸通し



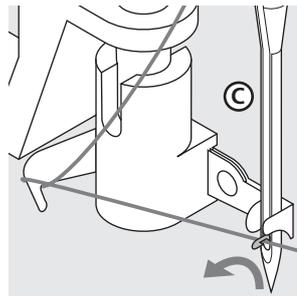
糸をフックに掛ける

- ・ 押え金を下げ、
- ・ 上糸をAのフックに軽くひっかけ、



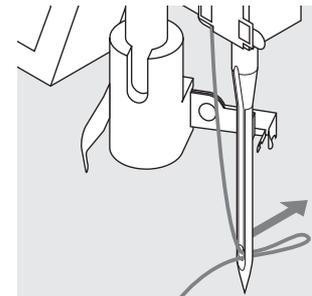
糸通し機のレバーを下げる

- ・ Bのレバーを押し下げ、



糸を針の前へ

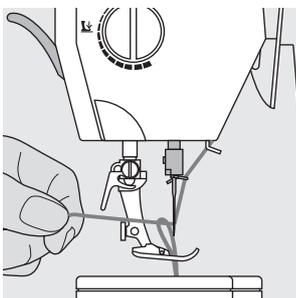
- ・ 針Cの前方に糸をのばし、
- ・ 糸を下から上に向けて、フックに引っかかるように持ち上げ、



レバーを開放する

- ・ Bのレバーと糸を離せば完了です。
- ・ 輪になっている糸を後ろへ引くと糸が針穴に通ります。

下糸の引き上げ方



下糸の引き上げ方

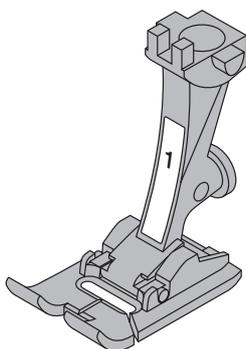
- ・ 下糸を下糸カッターでカットしたときは、下糸を引き上げる必要はありません。
- ・ 上糸を手で持ったままで、一針だけ縫います。
- ・ 上糸を引くと、下糸が上がってきます。
- ・ 両方の糸を押え金の溝を通して、横に引き出し、糸切りで切ります。

注意

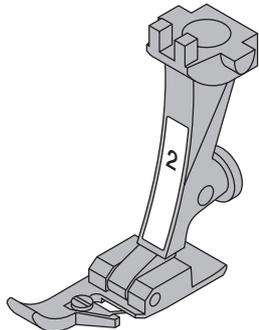
特殊な縫い方においては下糸を必ず引き上げることも必要です。

15 押え金

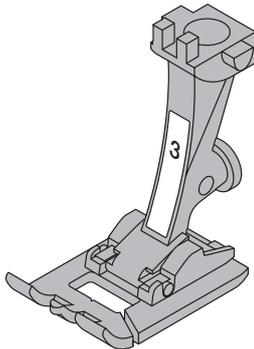
押え金



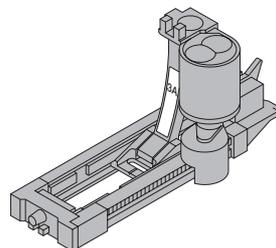
#1
スーパー模様押え
実用縫い、模様縫い



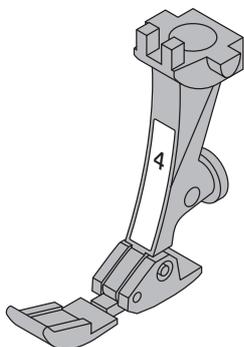
#2
オーバーロック押え
オーバーロック縫い
布端かがり



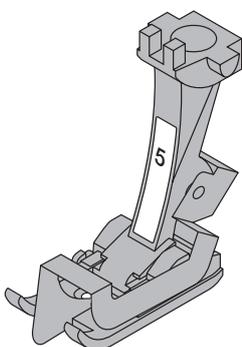
#3
ボタンホール押え
ボタンホール縫い



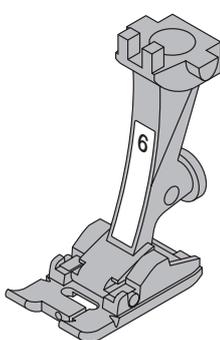
#3A
布ガイド付ボタンホール押え
フラットな部分でのボタンホール縫い、
自動つくろい縫い



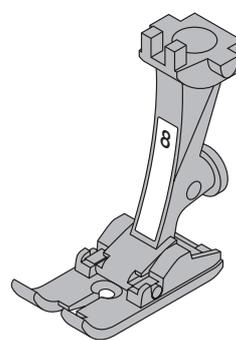
#4
ファスナー押え
ファスナー付けに



#5
まつり縫い押え
まつり縫い、エッジ縫いに



#6
刺しゅう押え
刺しゅう、アップリケ、サテ
ンステッチ模様、文字、モノ
グラム

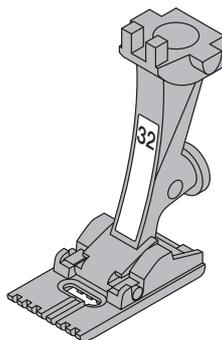


#8
ジーンズ押え
ジーンズなどの厚地で段差
を直線で縫う時に、#16/18
のジーンズ針と一緒に使い
ます。

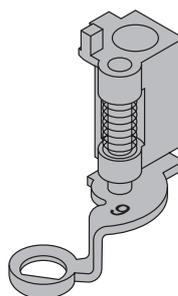
ベルニナ特殊押え（オプション）

ほとんどのソーイングは標準押え金で可能ですが、キルティングや、伝統的な手法を使ったソーイング、クラフト、ホームデコレーション、洋服の仕立てなどの特殊な作業にはベルニナ仕様の特殊な押え金のご使用をお勧めします。

下図の二種類の押え金はその一例です。

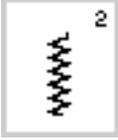
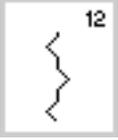
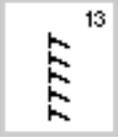
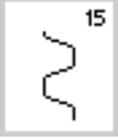
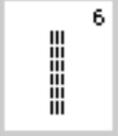
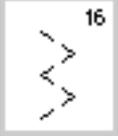
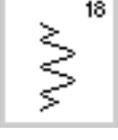
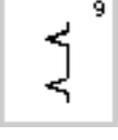


#32
7本溝ピンタック押え
2ミリ幅のピンタック。薄地の
ウールやコットンに最適



#9
ダーニング押え
ダーニング、モノグラミング、
フリーハンドキルティングや
刺しゅうに最適

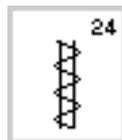
実用縫い模様と用途

- | | | | |
|---|---|---|--|
|  | 1. 直線縫い
伸縮性のない生地。すべての直線縫い |  | 11. スーパーストレッチ
非常に伸縮性の強いニット地やライクラ地などの縫い合わせ |
|  | 2. ジグザグ縫い
あらゆる生地。薄地でのジグザグ縫いや、ゴムひもやレースの縫い付けなど |  | 12. ギャザリングステッチあらゆる生地ゴムひもを使ったシャーリング、キルト綿等突き合わせ縫い |
|  | 3. バリオーバーロック
主に薄地のジャージー等、伸縮地の縁かがりやオーバーロック縫い |  | 13. ストレッチオーバーロック
中厚地のニット地、タオル地その他腰のある生 |
|  | 4. ランニングステッチ
あらゆる生地。つくろい縫い、パッチの縫い付けや補強縫いなど |  | 14. ジャージーステッチ
天然、混紡、あるいは化繊やデリケートなニット地。飾り縫い、縁かがり、繕い等に。 |
|  | 5. 自動止め縫い
あらゆる生地。直線縫いの始めと終わりを自動的に止め縫いする |  | 15. ユニバーサルステッチ
フェルト等厚地の生地またはレザー等突き合わせ、飾り縫い等 |
|  | 6. トリプルステッチ
厚くて丈夫な生地。補強縫いに |  | 16. 二点ジグザグ
粗い目の生地、布端の補強に、エラスティックや飾り縫いに。 |
|  | 7. トリプルジグザグ
厚くて丈夫な生地。補強縫い、トップステッチ、やへム縫い、飾りステッチ、カウチングなどに。 |  | 17 ライクラステッチ
二方向伸縮性のニット地に、フラットな突き合わせ、縁縫い、下着などに |
|  | 8. ネットステッチ
インターロック地や滑らかな生地に。トップステッチやへム縫いに。 |  | 18. ストレッチステッチ
すべてのストレッチタイプの生地に、スポーツウエアなどに。 |
|  | 9. まつり縫い
あらゆる生地。くけ縫いやソフトなジャージー、薄地のシエルタック、飾り縫いなど |  | 19. 強化オーバーロック
中厚地のニット地、ジャージー、タオル地や、固めの織物に |
|  | 10. ダブルオーバーロック
あらゆるニット地。縫うと同時に縁の始末ができる |  | 20. ニットオーバーロック
機械編みや、手編みのあらゆるニット地に縁かがりと縫い合わせを同時に仕上げます |

17 実用縫い模様と用途



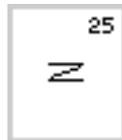
21. しつけ縫い
しつけ縫い



24. 自動かんぬき止め縫い
ポケットの両端やあき止まりなど、
ほつれやすい箇所やベルトループに



22. 自動つくろい縫い
薄地や中厚地の布の自動つくろい縫い



25. 自動かんぬき止め縫い
ポケットの両端やあき止まりなど、ほつれやすい箇所やベルトループに



23. 自動強化縫い縫い
厚地の自動縫い縫い

実用縫い模様の詳細な使い方は、後述のソーイングマニュアルの2-20ページをご参照下さい。

ボタンホール縫いと用途



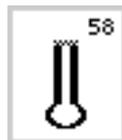
51. 標準ボタンホール
薄手から中厚手の生地。ブラウス、シャツ、ズボン、寝具等に



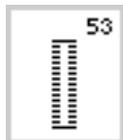
57. ポイントはと目ボタンホール
伸縮性のない堅い生地。
ジャケット、コート、レジャーウェアに。



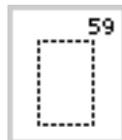
52. 標準ボタンホール（幅小）
薄手から中くらいの厚さの生地。ブラウス、シャツ、ドレス、ズボン、幼児服等



58. 強化はと目ボタンホール
堅い、伸縮性のない堅い生地。
ジャケット、コート、レジャーウェアに。



53. ストレッチボタンホール
木綿、化繊、シルクウールのあらゆる伸縮性ある生地。



59. 直線縫いボタンホール
ボタンホールの準備縫いに、ポケットの開口部に。



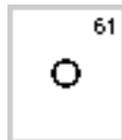
54. 鳩目ボタンホール
厚地で伸縮性のない生地。ジャケット、コート、ズボン等



60. ボタン付け
二つ穴、または四つ穴のボタン付けに。
（別売りのボタン付け押えが必要です。）



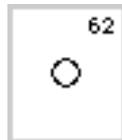
55. 直線縫いアイレット
鳩目穴、細ひもやリボンの挿入口に。



61. ジグザグ・アイレット
紐穴や、リボンやバンド穴、飾り縫いに。



56. 標準はと目ボタンホール
厚地、伸縮性のない生地。
ジャケット、コート、ズボン、レジャーウェア等に。

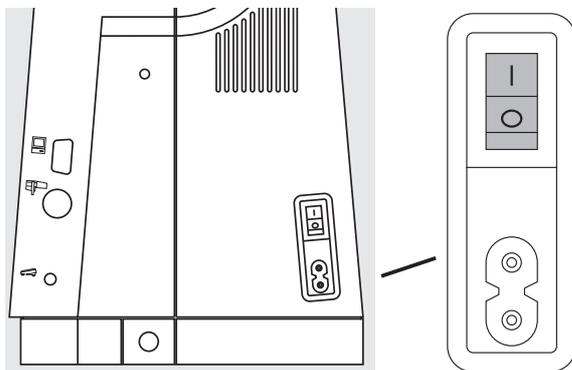


62. 直線アイレット
紐穴や、細いリボン穴に。

ボタンホール縫いに関する詳しい説明は、後述のソーイングマニュアルの21-30ページをご参照下さい。

スクリーン操作

アーティストは外部操作ボタンとつまみ、及びタッチスクリーンの両方で操作します。



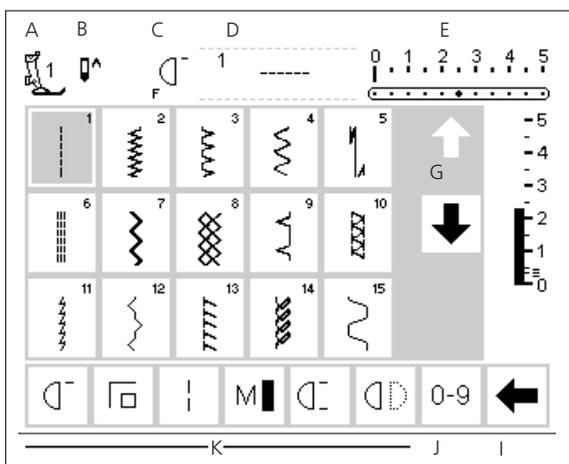
ミシンの電源を入れる

- ・スイッチの「I」を押し、オンにします。



Welcomeメッセージが約3秒間画面に表示されます。

- ・ **Welcome**
- ・ このスクリーンはセットアップ機能で出さないようにすることも出来ます。



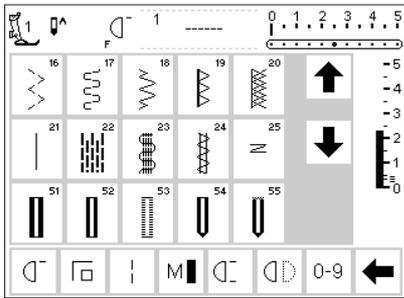
実用縫いスクリーン

・ **Welcome**メッセージが消えると実用縫いスクリーンが表示されます。

- ・ スクリーンには次の情報が含まれています。

- A—基本の押え金の表示
- B—針上下停止位置表示
- C—「F機能」ボタンにセットされた機能の表示
- D—選択した模様の番号
- E—振り幅（基本セッティングが点滅）
- F—針基線（11ポジション）
- G—画面スクロール上下矢印
- H—送り長さ（基本セッティングが点滅）
- I—機能スクロール用矢印
- J—模様番号でステッチ選択機能（選んだ模様は黒く強調して表示されます）。
- K—機能ツールバー

模様を選択方法（模様を選ぶ方法は二通りあります。）



画面のスクロール方法

- 画面右のスクロール用矢印《↓》（下向き）を一回タッチして下さい。
- 最上段の模様の行が消えて、下から新しい模様の行が現れます。
- 今度はスクロール用矢印《↑》上向きを一回タッチして下さい。

- 最上段が再び現れて、最下段スクリーンから消えます。
- 押し続けると画面上の模様が下から上に移動します。

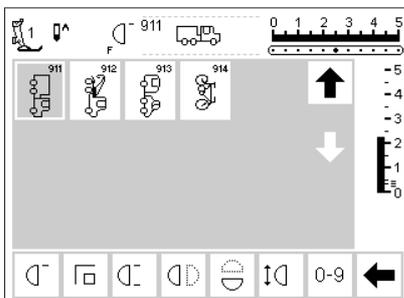


模様を番号で選ぶ方法

- 画面下の機能ツールバーで模様番号選択機能《0-9》をタッチします。
- 画面が模様番号選択機能の画面に変わります。
- 選びたい模様の番号を数字ボタンをタッチして入力します。
- 画面上に入力した番号が表示されます。

入力の訂正方法

- 間違って番号を入れたり、番号を変更したい時は、消却機能《クリア》ボタンをタッチします。
- 下の桁から一つづつ数字を消します。
- 正しい番号を入力します。



番号を確認して次の画面へ

- 《ok》ボタンをタッチして確認します。
- 《ok》ボタンを押して模様画面を表示します。
- 番号で選んだ模様が黒く強調されて表示されます。

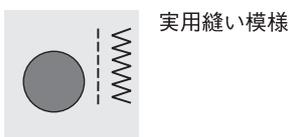
キャンセルして元の画面へ戻る

- 《キャンセル》ボタンをタッチします。
- 元の画面が現れます。
- 番号で入力した模様はキャンセルされました。

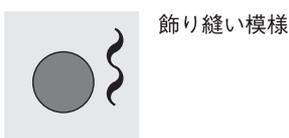
ご注意！

模様がない番号を入力しても画面は反応しません。

模様メニューの操作方法



実用縫い模様



飾り縫い模様



文字、数字



ボタンホール



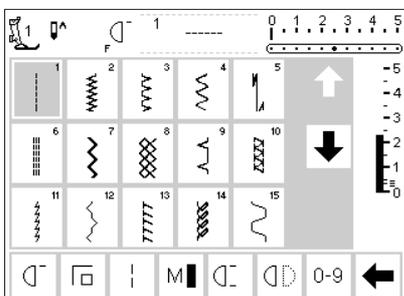
キルトステッチ



刺しゅう機、選択ボタン

外部メニュー プッシュボタン

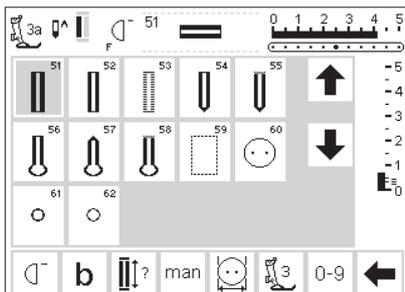
- プッシュボタンを押します。
- 模様プログラムが選択されました。
- 最初の模様画面が現れます。



実用縫い模様メニュー

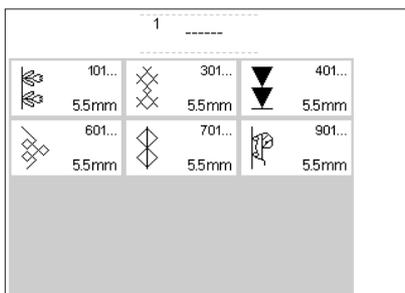
- 実用縫い模様画面が現れます。
- 直線縫いが自動的に選ばれています。
- 画面には15種類の模様が表示されます。
- 他の模様を画面に表示するにはスクロール矢印をタッチします

21 ミシンの操作説明



ボタンホールメニュー

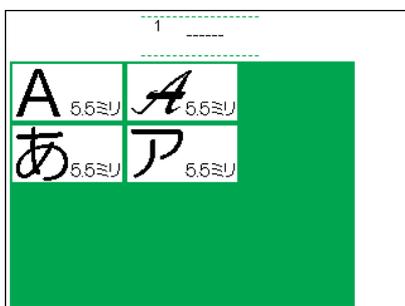
- ・ボタンホールメニュー画面が現れます。
- ・アイレットや、ボタン付けプログラムも含まれています。



飾り縫い模様メニュー

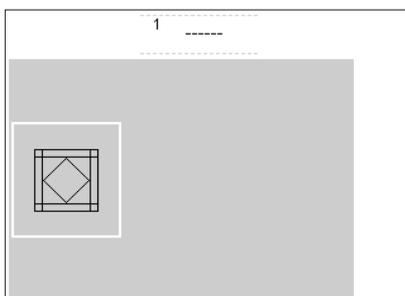
- ・飾り縫い模様メニュー画面が現れます。
- ・5.5ミリの飾り縫い模様を含むいろんな模様パターンやサイズを選べます。

- ・横送り模様にはクロスの矢印が表示されています。
- ・模様タイプボタンをタッチして選びます。
- ・選んだ模様グループが表示されます。



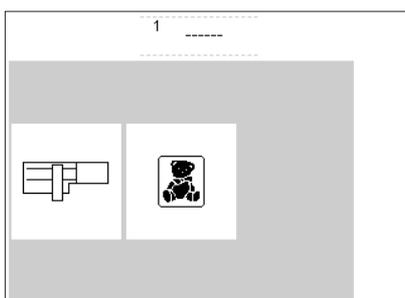
文字メニューボタン

- ・文字メニューが現れます。
- ・縫いたい文字ボタンをタッチして選びます。



キルトステッチ

- ・キルトステッチメニュー画面が現れます。
- ・画面のボタンをタッチしてキルトステッチ画面を表示します。



外部入力との接続メニュー

- ・以下の外部入力をつなぐことが可能です。
- 刺しゅう機 (別売りオプション)
- 刺しゅうカード (別売りオプション)

- ・メニューが現れます。
- ・画面をタッチして選びます。



セットアップメニュー

- ・外部セットアップ用ボタンを押します。
- ・メニュー画面が現れます。
- ・ご自分のご使用に便利のようにセットアップ機能を使って編集します。
- ・模様や機能を組合わせて編集できます。
- ・パーソナルセッティングを恒久的に保存できます。

- ・保存したパーソナルセッティング画面から自在に操作が可能です。
- ・不要になればいつでも基本セッティングに戻せます。

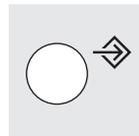
セットアッププログラム

セットアッププログラムであなたの必要と好みにあった画面を創れます。

それと同時に基本セッティングを恒久的に変え、針元にあるFボタン（フリー機能ボタン）にもプログラムすることが出来ます。いろんなことができますので、見出しを良く見てどのようにしたいのかを選んで下さい。

変更された内容は恒久的に保存され、スイッチを切ってもそのままです。

ミシンを、最初にご購入された状態に戻すことも簡単です。



セットアップ

- ・画面右下のボタンを押します。
- ・メニューが現われます。
- ・リストにある他のものに変えることが出来ます。
- ・いつでも元のセッティングにセットし直すことが出来ます。

マイ スクリーン の設定	機能の編集	振り幅、 送り長さ、 針基線の変更
音を鳴らす	最高スピードの 設定	
スタート画面の 表示/非表示	標準の設定に 戻す	ソーイング ライトの点滅
サービス プログラム		画面の明るさ調整
	戻る	

メニュー

- ・メニューには変更出来る全ての機能が表示されています。
- マイスクリンの設定
- 機能の編集
- ステッチの幅、長さ、針基線の変更
- シグナル音を鳴らす
- 最高スピードの設定
- スタート画面の表示/非表示選択
- 標準の設定に戻す

- ソーイングライトの点滅

- サービスプログラム

- 画面の明るさ調整

- 戻る

・マイスクリーンはスイッチを切っても保存されたままです。

・いつでも標準の設定に戻すことも、パーソナルセッティングを変更することも出来ます。

セットアップ操作機能

次の機能がセットアッププログラムに用意されています。外部セットアップ機能ボタンを押してセットアップ画面

を表示し、「機能の編集」ボタンをタッチして起動します。

マイ
スクリーン

マイスクリーン機能

- ・マイスクリーンボタンにタッチします。
- ・マイスクリーン編集画面が表示されます。

使い方：

- ・よく使う模様をマイスクリーンに編集しておくくと便利。

リセット

リセット機能

- ・リセットボタンにタッチして起動します。
- ・独自の模様縫いのセッティングをクリアして表順に戻します。



機能編集用矢印

- ・矢印のボタンにタッチします。
- ・セットアップ機能での機能の編集で機能をツールバーから取り消します。



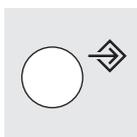
機能挿入用矢印

- ・矢印のボタンにタッチします。
- ・セットアップ機能の機能編集で機能を機能ツールバーに挿入します。

マイスクリーン（パーソナルステッチ画面）のメニューをプログラムする

良く使うステッチをマイスクリーンに登録しましょう。マイスクリーンに登録するステッチの振り幅、送りの長さ、針基線などを前もって変えておくこともできます。

横送り模様、アルファベット、モノグラムなどは登録できません。

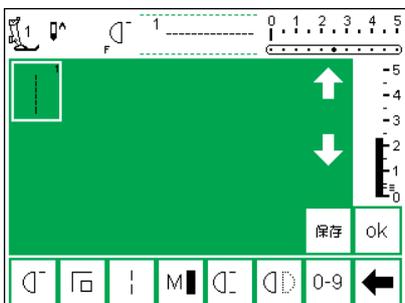


セットアップ

- 画面右下のセットアップボタンを押します。
- メニューが現れます。

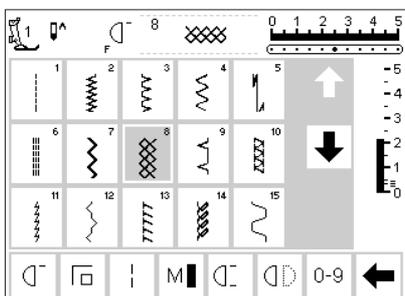


- 《マイスクリーンの設定》ボタンにタッチします。
- マイスクリーン画面が自動的に現れます。



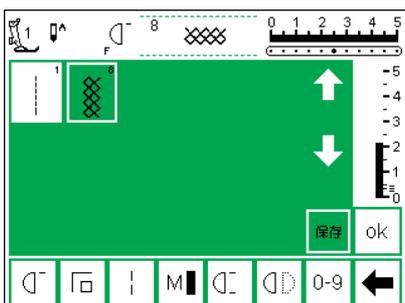
マイスクリーン

- 直線縫いが標準仕様で登録されています。
- ステッチを選ぶ毎に、空白のスペースに登録されて行きます。



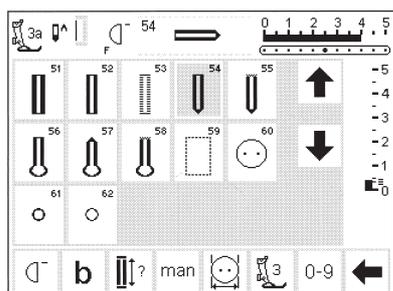
ステッチの登録

- 画面右横の登録したいステッチ、例えば《実用縫い》ボタンを押します。
- 8のネットステッチをタッチします。（黒く表示されているボタンです。）



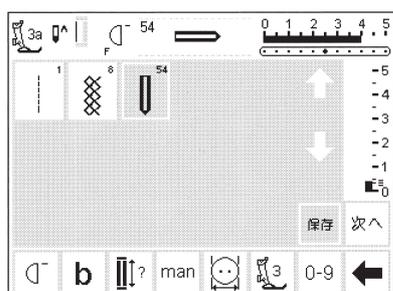
マイスクリーン編集画面

- 画面がマイスクリーンに戻り
- ネットステッチが現れます。
- 《保存》ボタンにタッチします。



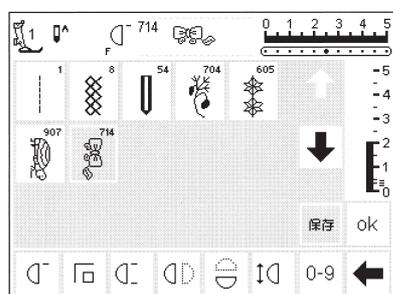
次のステッチを挿入する

- ・画面右横の《ボタンホール》ボタンを押します。
- ・鳩目ボタンホールにタッチして下さい。（明かりが点いている所です。）



マイスクリーン画面

- ・画面がパーソナルプログラムに変わります。
- ・鳩目ボタンホールが次の空所に現われます。
- ・《保存》にタッチしてセーブします。
- ・このようにしてプログラムを続けます。



マイスクリーン画面（ステッチを追加）

- ・五段分の上の行は埋まりました。
- ・一行目が一杯になったら、自動的に次の行に移ります。
- ・同様にプログラムして下さい。
- ・マイスクリーンには60種類まで登録できます。
- ・15以上プログラムしたら、基本のプログラムのときと同様に画面がスクロールします。

ok

保存して閉じる

- ・《OK》ボタンにタッチします。
- ・画面は閉じます。
- ・セットアップメニューに戻ります。

マイ
スクリーン

《マイスクリーン》機能

- ・マイスクリーンを開くためには、マイスクリーン機能ボタンを画面下のツールバーに登録します。
- ・《プログラム機能》54 ページを参照して下さい。

F

《フリー》機能ボタン

- ・良く使う機能を針元のF機能ボタンに登録できます。

57 セットアップ機能

ok

保存して閉じる

- ・《ok》ボタンにタッチします。
- ・変更したスピードでセットされます。
- ・画面は閉じます。
- ・セットアップメニューに戻ります。

スタート画面をキャンセルする

ミシンのスイッチを入れたときに表示されるウエルカム (Welcome) メッセージを非表示にすることが出来ます。



セットアップメニュー

- ・画面右下の《セットアップ》機能プッシュボタンを押します。
- ・《スタート画面の表示/非表示》ボタンにタッチします。
- ・スタート画面が現れます。



スタート画面をキャンセルする

- ・《表示しない》ボタンにタッチして下さい。
- ・次回ミシンのスイッチを入れた時にスタート画面は表示されず、実用縫いのメニューが直ちに現れます。

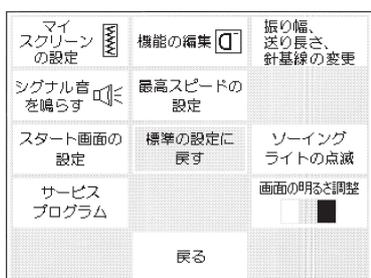
- ・《表示する》ボタンにタッチして下さい。
- ・ミシンのスイッチを入れるたびにスタート画面が出て、続いて実用縫いのメニューが現れます。

ok

変更を保存して閉じる

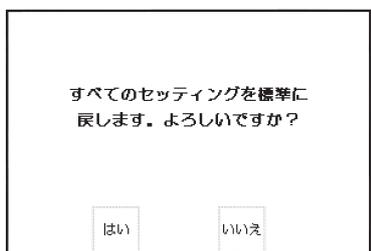
- ・《ok》ボタンにタッチして確認します。
- ・《戻る》ボタンにタッチしてセットアップメニューに戻ります。

標準仕様に戻す



セットアップメニュー

- ・画面右下の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが現れます。
- ・《標準の設定に戻す》ボタンにタッチして下さい。



確認して下さい。

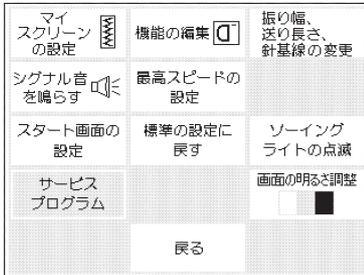
- ・左の画面が表示されますので確認して下さい。
- ・良ければ《はい》ボタンをキャンセルするなら《いいえ》ボタンをタッチします。
- ・《はい》と答えた場合、砂時計が表示され、しばらく時間が掛かって、全ての仕様を標準に戻します。

- ・《いいえ》と答えた場合、セットアップ画面に戻ります。

ソフトウェア・バージョンの確認

代理店にミシンの調子や扱い方、またバージョンアップなどの各種情報を問い合わせるとき、ミシンと刺しゅう機に組み込まれているソフトウェアのバー

ジョン（仕様番号）を知っておいただくとの確な情報をご提供できます。



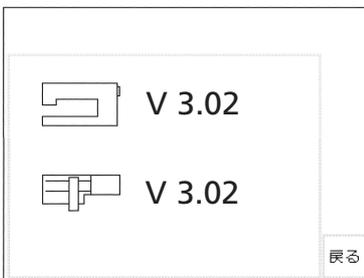
セットアップメニュー

- ・画面右下の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが現れます。
- ・《サービスプログラム》ボタンにタッチします。



サービス画面

- ・サービス画面が表示されます。
- ・《ソフトバージョン情報》ボタンをタッチします。



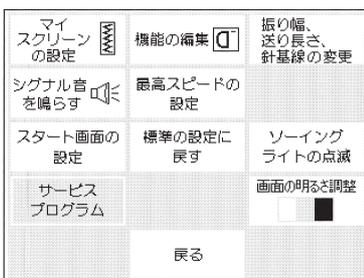
ソフトバージョン情報

- ・画面にソフトのミシンのバージョン番号が表示されます。
- ・刺しゅう機が接続されている場合は刺しゅう機のバージョン番号も左の画面のように表示されます。
- ・通常、ミシンと刺しゅう機のバージョン番号0は同じでなければ、フル機能を発揮できません。
- ・《戻る》ボタンをタッチしてサービス画面に戻ります。

タッチ画面の感度の調整

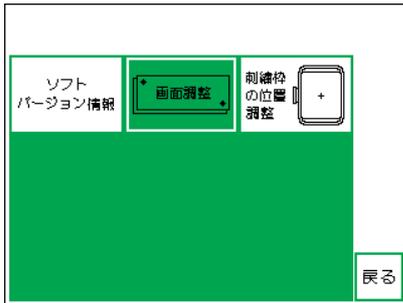
輸送中や各種の衝撃でタッチ画面の感度が鈍くなることがあります。このよ

うときには、次の手順でタッチ画面の感度を再調整できます。



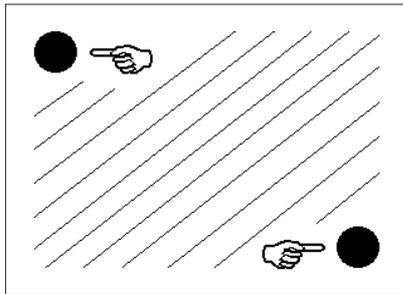
セットアップメニュー

- ・画面右下の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが現れます。
- ・《サービスプログラム》ボタンにタッチします。



サービス画面

- ・サービス画面が表示されます。
- ・《画面調整》ボタンをタッチします。



画面感度の調整

- ・感度調整用画面が表示されます。
- ・黒い点を一つずつ指先でタッチします。順番はどちらからでも構いません。
- ・ミシンは《ピー》という音を出して、正確にタッチされたことを確認します。
- ・元の画面に戻ります。

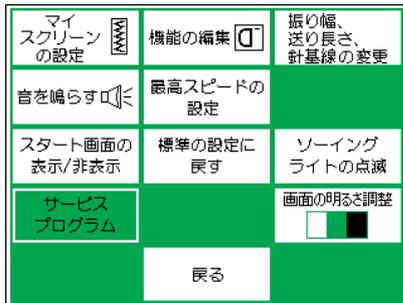
メモ：

黒い点以外の画面部分をタッチすると、技術的な修理が必要となる場合がありますので、触れないで下さい。

刺しゅう枠の位置調節

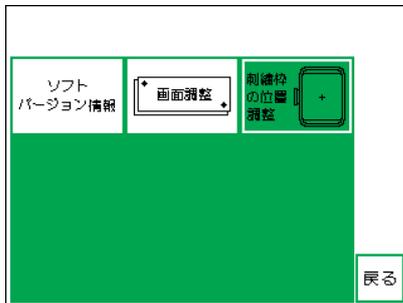
刺しゅう枠の中心を針の位置に合わせるためのプログラムです。ミシンに刺しゅう枠が取り付けられていなければ

作動しません。刺しゅう枠をお買い求めの時にだけセットしていただくだけで、後は必要ありません。



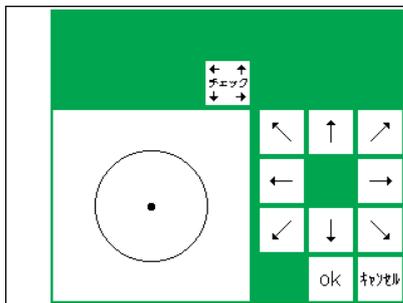
セットアップメニュー

- ・画面右下の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが現われます。
- ・《サービスプログラム》ボタンをタッチします。



サービス画面

- ・サービス画面が現れます。
- ・《刺しゅう枠の位置調節》ボタンをタッチします。



刺しゅう枠の位置調節

- ・刺しゅう枠位置調節の画面が現われます。
- ・刺しゅう機に、一番大きな刺しゅう枠を取付けます。
- ・透明の基盤の目のテンプレートをセットします。
- ・《チェック》ボタンにタッチすると刺しゅう機が動いて、位置が読み込まれます。

- ・針はテンプレートのちょうど中央の穴に合っていないとなりません。
- ・もしずれていたら、矢印で調節します。
- ・刺しゅう枠の調節は一度セッティングすれば、あらゆるサイズの刺しゅう枠に合うようになっています。

61 セットアップ機能



保存して閉じる

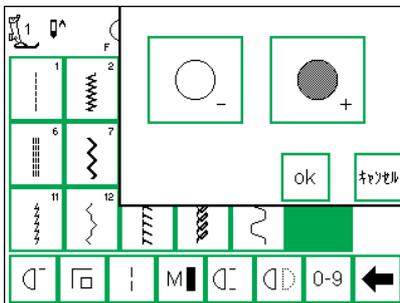
- ・《ok》ボタンにタッチして下さい。
- ・調節した位置が記憶され保存します。
- ・《戻る》ボタンにタッチします。
- ・セットアップメニューに戻ります。

画面のコントラストを調節する



セットアップメニュー

- ・画面右下の《セットアップ》押しボタンを押すと、メニューが現われます。
- ・《画面の明るさ調整》ボタンにタッチして下さい。画面が読みにくくなっていることを忘れないようにして下さい。
- ・コントラスト調整画面が現われます。



コントラストを調節する

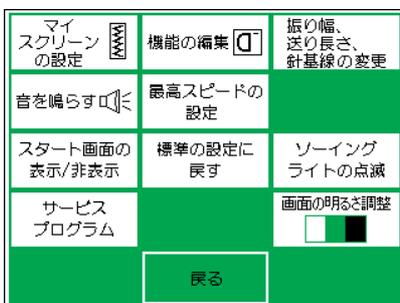
- ・二つ（○-：明るくなる、○+：暗くなる）のどちらかを使ってコントラストを調節して下さい。
- ・タッチしてコントラストを増減させます。
- ・元の画面がバックグラウンドに見えたままになっていますので、コントラストの状態を見ながら調節できます。



セーブして閉じる

- ・《ok》ボタンにタッチして下さい。
- ・変更した状態でセーブされます。
- ・画面が閉じます。
- ・セットアップメニューに戻ります。

セットアップ機能を終る



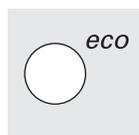
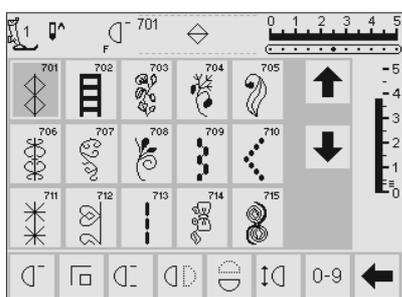
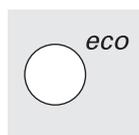
セットアップメニュー

- ・《戻る》ボタンにタッチして下さい。
- ・セットアップ画面は閉じられます。
- ・変更したものがセーブされます。
- ・ミシンのスイッチを切っても変更した仕様は記憶されたままです。

エコ機能

緑色の《エコ機能》プッシュボタンは電力を節約します。《エコ機能》が起動していたら、50%の電力の節約になります。このエコ機能はパソコンの《スクリーンセーバー》機能に匹敵するものです。

電力の節約とは別に、エコ機能はまた幼児への安全策も備えています。エコモードでは、ミシンは休止状態にロックされます。ミシンを再度使うには、エコモードを終了して、元の画面に戻します。



エコ機能

- ・画面右横の《エコ機能》プッシュボタンにタッチして下さい。
- ・電力消費を50%カットします。

画面

- ・画面は暗くなり、細部が辛うじて見える程度になっています。
- ・ミシンはロックされ、エコモードでは縫えません。
- ・セッティングは全てそのままです。

ソーイングに戻る

- ・《エコ機能》プッシュボタンにタッチして下さい。
- ・ミシンは元のセッティングに戻ります。

スイッチを入れたままで使っていない状態が長く続く時はこのエコ機能を使います。

今使っている画面、メモリーの全内容、選択した他の機能は全てそのままです。画面は暗くなり細部がようやく見える程度で、休止状態になります。

再度使い始めるには、《エコ機能》プッシュボタンを押しますと、ミシンは休止以前の状態に戻ります。

- ・止めてある所からスタートすることが出来ます。
- ・エコモードはミシンの電源スイッチを切った時には解除されません。

特殊アクセサリ

ここからのページではソーイングの楽しみをさらに広げてくれる別売りのアクセサリをご紹介します。

詳しくはお買い求めの代理店にお問い合わせください。

CPS模様交換パソコン用ソフト

このソフトを使って、豊富に用意された模様の中から、ご自分の好みの模様と入れ替えることが出来ます。

模様に入れ替えが可能です。

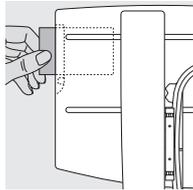
別売りオプションの刺しゅう機に含まれるオリジナルのモチーフも入れ替えが可能です。

CPSプログラムはミシンをあなたの思い通りのやり方や縫い方に合わせてオリジナルなミシンに仕立てる事を可能にしてくれます。そしていつでも何度でも繰り返し、

詳しい内容は、最寄りのベルニナ正規販売店にお尋ね下さい。

刺繍デザインカード（別売りオプション）

幅広いテーマをカバーした刺繍カードを刺しゅう機でご利用いただけます。



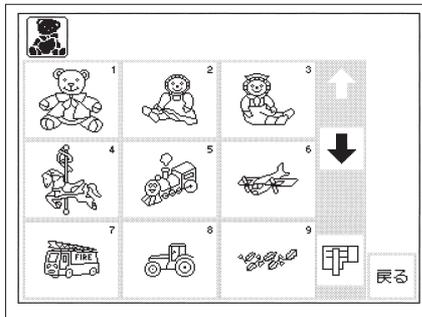
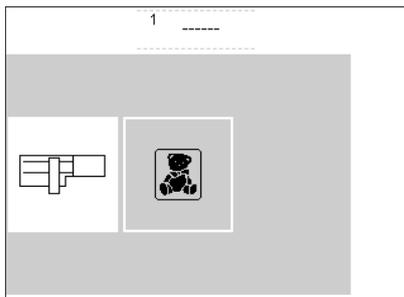
一つのテーマ毎に各カードが用意されています。常に新しいカードが発表されていますので、最寄り

カードを差し込む

- ・ ミシンの電源を切ります。
- ・ 刺しゅう機のカード差込口にカードを差し込んで下さい。

刺繍カードのメニュー

- ・ 刺しゅうメニューが現われます。
- ・ <<刺しゅうカード>>ボタン（クマの絵）にタッチして下さい。



カードの刺しゅうモチーフ

- ・ 最初のモチーフの画面が現われます。
- ・ スクロールして次々とモチーフを見る事が出来ます
- ・ ミシンにプログラムされたステップと同じように選択して縫い

のベルニナ正規販売代理店へお問い合わせ下さい。

刺しゅうカードは刺しゅう機のカード差込口に差し込みます。内容は画面に表示されます。

ましょう。

- ・ ご使用中のカード番号は画面左上に出ています。

パソコン用刺しゅうソフト（別売りオプション）

ベルニナではユーザーの好みに応じて、マイクロソフト社の Windows オペレーティングシステム対応のパソコン用の刺しゅうソフトを豊富にご用意しております。

刺しゅうソフト《アートリンク》はインターネットから刺しゅうデータをダウンロードして取込むことの出来るソフトです。ソフト自体に 24 種類のデザイナータッチの刺しゅうデザインが含まれています。

刺しゅうソフト《オートデザイナー》は、アートリンクの機能に加え、パソコンにデジタルカメラやスキャナーから取込んだ画像を自動で刺しゅうデザインに変換する

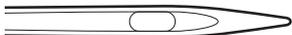
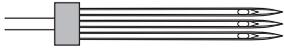
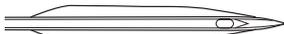
ソフトです。ソフト自体 200 種類以上の刺しゅうデザインを含みます。またトルタイプフォントを使って文字を刺しゅうデータに変換する事も可能です。

刺しゅうソフト《デザイナープラス》は、《オートデザイナー》の機能にプラスして、刺しゅう専門家が使うようなテクニックを使い、クロスステッチやフォトスナップ機能も標準装備のハイパフォーマンスの刺しゅうソフトです。

詳しくは最寄りのベルニナ正規販売代理店にお尋ね下さい。

ミシン針に関する重要事項

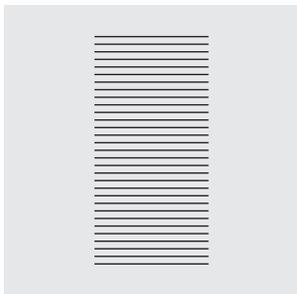
特殊な布ほど、布地に適した針を使い分けることにより、大変縫いやすくなります。
ベルニナ正規販売代理店では、様々な針を用途に合わせて取りそろえております。

針一覧表	針の記号	針先形状	用途	実際の形状
標準針	130/705H	標準の針先	汎用針、化繊や天然繊維の織地、例えば、リネン、シフォン、人絹、オーガンジー、ウール、サテン、飾り縫い、刺しゅう	
特殊針	130/705H-SES	細手ボールポイント	絹、化繊、綿、薄地のウール地、薄手のニット地、特に伸縮性の強い生地	
特殊針	130/705H-SUK	中太ボールポイント	化繊や天然繊維の厚手のニット地	
特殊針	130/705H-S	中太ボールポイント	特にデリケートな伸縮地用	
ジーンズ針	130/705H-J	針先強度大	綾織、作業衣、麻、デニム、キャンバス地。目のつんだ生地。	
レザー針	130/705H-LR 130/705H-LL	カッティングポイント	各種天然皮革、合成皮革、ビニールコーティング地、プラスチック	
二本針	130/705H-TWI	針間隔 (ミリ) 1.6/2.0/2.5/3.0/ 4.0ミリ	伸縮地のヘム縫いに、ピントック、飾り縫い、キルティング	
三本針	130/705H-TRI	巾2.5/3.0ミリ	飾り縫い、キルティング	
ウイング針 ヘムステッチ針	130/705H- WING	ウイング針	綿ローンや綿オーガンジー等の織りのゆるい薄地でヘムステッチやレース付け	

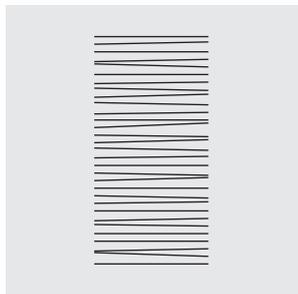
送り歯と布送

送り歯と縫い目の長さ

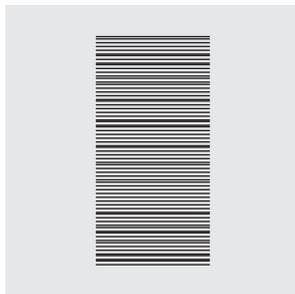
送り歯は、通常一針毎に一回ずつ布送りをします。この一回の布送り量は、送りダイヤルで調節した長さです。特に細かい縫い目の場合は、一回の布送りの量もわずかですので、フットコントローラーを一杯に踏み込んでも、布送りの速度はゆっくりしたものとなります。ボタンホールやサテンステッチおよび飾り縫い等は、通常、送りを細かくして縫います。



布送りが均等になるようにします。

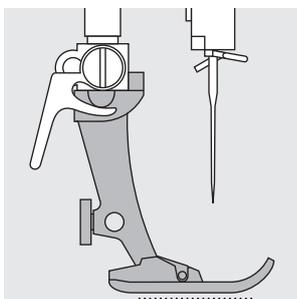


布を手で引っ張ったり、押し込んだりすると縫い目にすき間ができます。

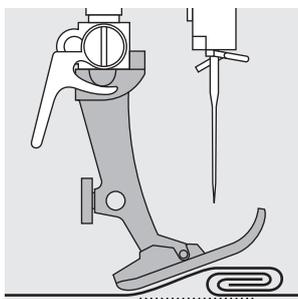


布を手で押えてしまうと縫い目が重なってしまいます。

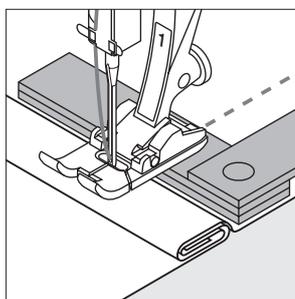
高さ調節板



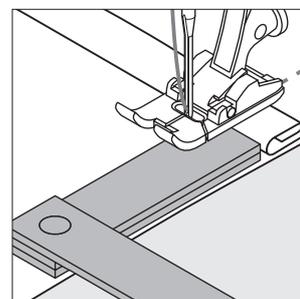
送り歯は、押え金が水平になっている場合、もっとも効果的に働きます。



薄地と厚地のつなぎ目を縫う時に、押えが斜めになってしまうと、送り歯は布をとらえることができず、布を送らなくなります。

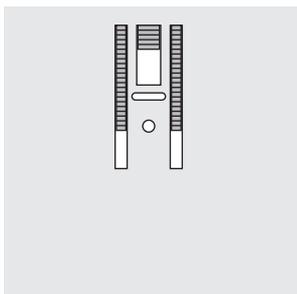


その場合には、図のようにして、高さ調節板を必要な枚数、押えの下に置くようにします。

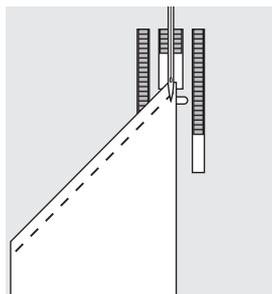


押えの手前で高さを調整する時は、必要な枚数の高さ調節板を押えの右下側に置きます。布の段差がなくなるところまで縫い進んだら、高さ調節板を外します。

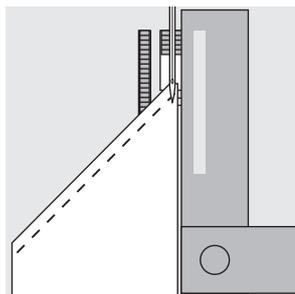
送り歯とコーナーの縫い方



左右の送り歯は、少し離れた位置についています。これはジグザグ縫い等、針が左右に振れる場合に備えてのことです。



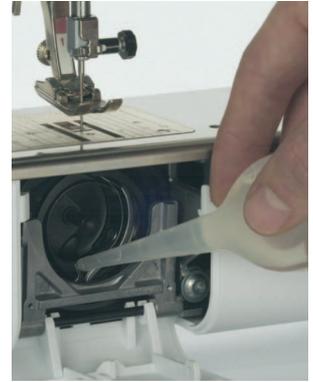
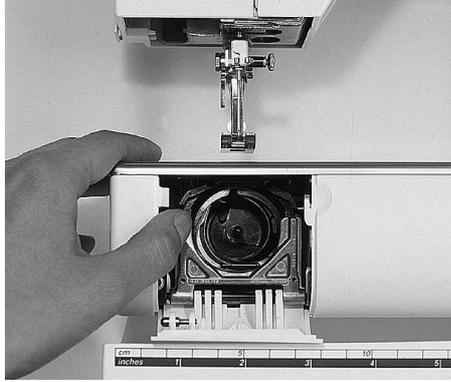
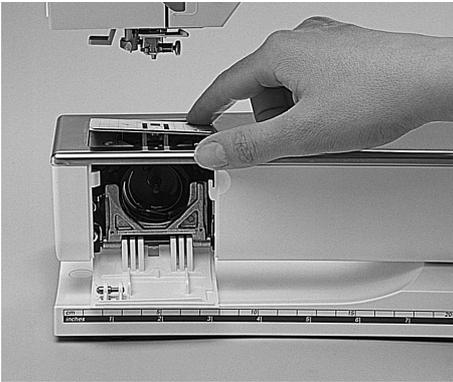
角を縫う場合は、送り歯に乗る部分はほんの少しなので、送りがうまくいかない場合があります。



そのような場合には、布端に高さ調節板を当てるようにすると、送りが正常に戻り、縫い目がきれいになります。

クリーニングの方法

ミシンを極端に気温の低い部屋
 においている場合、使用の1時間位
 前から通常の気温の部屋に移して
 おいて下さい。



クリーニング

ご使用後、針板の下にたまった糸の毛羽やくずを掃除してください。

- ・電源をオフにし、
- ・押えと針を外して、
- ・開閉カバーを開きます。
- ・針板の右後ろ隅を人差し指で強く押さえて針板を浮かせます。
- ・持ち上げて外します。
- ・ブラシで掃除し、
- ・針板をもとに戻します。

スクリーンの掃除

- ・濡れたソフトクロスで拭きます。

釜の掃除

- ・電源をオフにし、
- ・ボビンケースを取り出します。
- ・大がまレース(溝)の回りをブラシや布で掃除します。その際、尖ったものを使用しないこと。
- ・ボビンケースを戻します。

ミシンのクリーニング

- ・濡れたソフトクロスで拭きます。
- ・汚れがひどい時は中性洗剤を溶かした水をソフトクロスに浸して拭きます。

注油について

- ・2-3 滴のオイルを大釜の溝に注油します。
- ・糸を通さずにミシンを 2-3 分運転してください。
- ・余分なオイルを取り除いて、生地に染みをつけないように注意します。

重要

絶対にシンナー等の溶剤の入った洗剤等は使わない事

ソーイングランプの交換



明るく、超寿命のインバーター蛍光灯ランプが装備されています。交換が必要なときは、お買い求めの販売店へお申し出下さい。

69 トラブルの原因と対策

トラブルの原因と対策

故障かな?、と思ったら次の要領でまずお調べ下さい。

チェックポイント

- ・ 上糸、下糸が正しくかかっていますか。
- ・ 針が正しくとりつけられていますか。(平らな部分を後ろ側にします。)
- ・ 針は、針と糸の一覧表を見て、正しいものを使用して下さい。
- ・ ミシンをきれいに掃除し、糸くずを取り除いて下さい。外がまの掃除も忘れずに。
- ・ 上糸テンションディスクの間や、ポビンケースの糸みちのごみを取り除いて下さい。

上糸切れの原因

- ・ 上糸テンションが強すぎる。
- ・ 針の品質が良くない。(ベルニナ製品取扱い店でお買い求め下さい。)
- ・ 針が正しくセットされていない。(平らな部分を後ろ側にして下さい。)
- ・ 針先がつぶれている、または曲がっている。
- ・ 糸の品質が良くない。(こぶがあったり、ささくれている、古くて乾燥しすぎている等)
- ・ 針板の糸穴や釜のけん先に傷がついている。このような場合には、お買い求めの販売店にご相談下さい。

縫い目が乱れる原因

- ・ テンション皿に糸くずが残っている。
- ・ ポビンケースのテンションばねの内側に、糸くずが残っている。
- ・ 上糸、下糸の糸通しを再確認してください。
- ・ 糸こま押えのサイズが正しくない。

ミシンが回転しないか、高速にならない原因

- ・ 下糸巻き装置がオンになっている。
- ・ 電源コンセントが正しく入っていない。
- ・ 電源スイッチがオフになっている。
- ・ 室温が低すぎミシンが冷え切って十分に機能しない。

下糸切れの原因

- ・ 下糸テンションが強すぎる。
- ・ ポビンケースの中で、糸がからまっている。ポビンを取り出し、チェックしてください。
- ・ 針板の針穴に、傷がついている。このような場合には、お買い求めの販売店にご相談下さい。
- ・ 針先がつぶれている、または曲がっている。

ミシンが前進送りしない原因

- ・ 機能選択ボタンの「連続返し縫いボタン」がオンのままになっている。
- ・ 送り歯が下がっている。

目飛びの原因

- ・ 針が正しくない。ベルニナ純正の 130/705H サイズの家庭用ミシン針を使って下さい。
- ・ 針先がつぶれているか、曲がっている、または正しくセットされていない。(針は上に一杯まで差し込んで止めて下さい。)
- ・ 布地に合った針を使っていない。

インバーターソーイングライトの交換

- ・ ソーイングライトの交換は、危険が伴いますので、必ずお買い求めの販売店にご相談下さい。

針折れの原因

- ・ 針止めネジの締め方が十分でない。
- ・ 縫い終わった後、布を手前へ引いてしまった。
- ・ 厚地を縫っていて、針が布地に刺さっている状態で布を押してしまった。
- ・ 質の悪い糸を使っていた。(糸よりが均一でない、こぶがある等。)